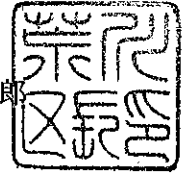




19 荒土道第106号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

荒川区長  
西川 太 一 郎



中期的な計画の作成にあたっての意見について(回答)

平素から、当区の道路行政にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成19年4月2日付けで依頼のあった標記の件について下記のとおり回答いたします。

記

■重点化を進める上で特に優先度の高い政策

都市の環境・景観・安全の観点を特に優先します。

- ・地球温暖化対策への積極的な取組
- ・二酸化炭素削減と公共交通利用促進のための政策の充実
- ・循環型社会構築のための積極的な取組
- ・防災機能・景観向上に効果の大きい無電柱化の推進
- ・都市部における街路の緑化促進

■効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

荒川区における都市計画道路整備の進捗率は約50%とまだ低い状況です。効率よく整備を進めるためには区民・関係地権者へPRと合意形成に向けて積極的に取り組み、用地取得を速やかに行うことが必要です。

■道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

大都市東京における今後の道路整備においては、これまでの量の充実に加え質の向上が必要であり、環境対策のような新たな付加価値を持たせていくことが重要であります。

例えば遮熱性舗装でヒートアイランド現象を緩和させることや、太陽光発電を利用した街路灯などが考えられます。

については、このような質の高い道路を積極的に整備できるように、道路特定財源を有効に活用した補助制度の拡充を要望いたします。

以上